令和3年8月6日 福知山市まちづくり構想 調査研究委員会説明資料 市長公室経営戦略課

# 福知山市総合計画

# 「未来創造 福知山」

# 【評価検証 2021】

令和3年7月 福知山市

# 福知山市総合計画「未来創造福知山」の評価検証について

#### 1 はじめに

平成27年度に策定した総合計画「未来創造福知山」については、令和2年度をもって基本計画期間が終了しました。

この間、持続可能な開発目標であるSDGsの考え方の浸透や、未来社会を切り拓くSociety5.0の進展、さらには目下喫緊の大きな課題である新型コロナウイルスへの対応、また、人口減少・少子高齢化、人口構造の変化や厳しい財政状況など社会情勢や地域社会を巡る環境の変化が予測される中で、市民とともにまちづくりを進めていくために、20年後の将来を見据えた新たな指針が求められます。

このため、本市においては、令和3年度に市民参画のもと、新しいまちづくりの指針となる「(仮称) まちづくり構想 福知山」を策定することとしています。

この新しいまちづくり構想の策定にあたっては、将来のあるべき姿から取り組むべき 方向性を考えるバックキャスティングの手法ととともに、これまでの取組を振り返り、 「未来創造福知山」の評価を踏まえたうえで、新たな方向性を検討していくことが重要 であると考えています。

そのため、『未来創造福知山』に位置づけた施策、取組の評価検証を行いました。

# 2 検証にあたって

『未来創造福知山』の検証にあたっては、施策体系に則り、政策(第1章から第7章) ごとに検証シートを作成しています。

その中で施策の大綱ごとに、「主な取組、成果及び課題及び成果指標の実績」を記載しました。

# 【重要視点】

・各政策(章)のポイントとなる視点を記載しています。

#### 【主な施策の方向性】

・施策の大綱ごとに、方向性を記載しています。

#### 【主な取組】

・『未来創造福知山』の期間で実施してきた主な取り組みを記載しています。

#### 【成果指標の実績】

・『未来創造福知山』に位置づけた「成果指標」の目標、実績、達成率を記載しています。

# 【主な課題】

・『未来創造福知山』によりこれまでに取り組んできたが、当初の目標の達成が十分ではなかったことや、計画どおりに進まず成果が十分得られなかったこと、今後取り組むべきことなどについて、主なものを記載しています。

# 第1章 市民が主体のまちづくり(協働・人権)

重要視点・「自助・共助・公助」による市民協働の体制づくりを進める。

・生命と人権を尊重する「みんなで進める人権尊重・住民自治のまち」をめざす。

# 主な施策の方向性

# ① 市民協働の推進

市民と行政が情報や課題を共有しながら持続性のあるまちづくりを推進するための支援・ しくみづくり等を行います。

# ②人権・平和の尊重

人権教育・人権啓発、平和事業等の人権施策を推進します。

# ③男女共同参画の推進

性別に関わらず活躍できる環境整備、男女共同参画を推進します。

# 4ユニバーサル社会の形成

ユニバーサルデザインの普及、外国籍市民が住みやすく訪れやすい環境を整備します。

# 主な取組と成果、及び課題

# ① 市民協働の推進

# 【主な取組】

- ・旧3町に加え、旧市の一部でも、「自らの地域課題は自らで解決する」ことをめざし、市民 主体の地域づくり組織が設立された。
- ・市民にまちづくりについて考えていただく次世代交流ワークショップやまちづくり講座等 を開催するとともに、市長が市民等と直接対話する「まちづくりミーティング」を開催し、 市民からの提案を施策に反映することで、市民協働のまちづくりを進めた。
- ・市民参画のまちづくりの基本となる市民との情報共有のため、新たな媒体の導入(フェイス ブック、インスタグラム)や既存媒体(広報ふくちやま、ホームページ)のリニューアル、 情報発信の工夫等によりアクセス数が増え、情報内容についても市民から高評価を得た。

成果指標	目標値	実績値	達成率
<b>八木</b> 相保	(令和2年度)	(令和2年度)	(令和2年度)
担当職員が訪問した際に、自治会長から要望	90	10	11.1%
等を受け取った割合(%)	90	10	11.170
ふくちの農山村応援事業に取り組んだ集落数	26	H29~	
(集落(年間))	20	事業廃止	_
元気出す地域活力支援事業実施団体の課題	80	83.3	104.1%
解決に対する満足度(%)	80	03.3	104.1%
福知山市市民憲章推進協議会構成団体数	80	76	95.0%
(団体)	80	70	95.0%
市民満足度調査「住みよい・どちらかといえば	82.5	調査未実施の	
住みよい」回答率(%)	82.5	ため測定不能	_
住民主体の地域づくり組織数(組織(累計))	9	4	44.4%
市ホームページアクセス数(件/月)	80,000	361,504	451.9%

44,000	57,911	131.6%
	44,000	44,000 57,911

- ・自治会などの既存の組織だけでは解決困難な福祉や地域の安心安全などに関する課題に対 応する地域づくりの組織設立とその主体的な活動への支援
- ・市民が主体となった活動の立ち上げや持続を支援する新たな実効性のある制度の構築
- ・本市の多様な魅力を市内外に積極的に発信し、認知度・イメージの更なる向上(「まちづくりに関わってみたい」、「応援したい」と思ってもらえる人を増やす)

# ② 人権・平和の尊重

# 【主な取組】

- ・人権に関わる各種相談窓口を開設し、また関係機関が連携して相談体制の充実に努めた。
- ・将来を担う中学生・高校生100人(平成28~令和元年度の累計)が広島・長崎・沖縄で 現地研修を行い、戦争の悲惨さや平和の大切さを学び、帰福後にその経験を市民と共有する 啓発活動を行うなど、人権と平和のリーダーとなる人材育成を進めた。

# 【成果指標の実績】

成果指標	目標値 (令和2年度)	実績値 (令和2年度)	達成率
「人にいちばん近いまちづくり」実行委員会参加団 体数(団体・個人)	27	25	92.6%
行政機関、関係機関、NPO等との連携による事業参加者数(人)	3,200	1,818	56.8%
共にしあわせを生きるまちづくり人権講座参加者 数(延人数)(人)	3,650	1,127	30.9%
人権講演会参加者数(人)	3,016	451	15.0%
事前登録型本人通知制度登録者数(人)	3,000	1,621	54.0%
広島・長崎・沖縄平和研修の参加者数(累計) (人)	439	421	95.9%

※コロナ禍により、人にいちばん近いまちづくり講演会は、1回のみの実施となった。(開場視聴及びオンライン開催)また、広島・長崎・沖縄の現地での平和学習ができなくなった。

#### 【主な課題】

- ・人権問題の解決のために、個別的・具体的な人権侵害から実態を把握し、相談体制や支援制度を構築
- ・SNS等によるインターネット上の人権侵害へ対応する体制の整備
- ・部落問題をはじめ、様々な人権問題を解消するための人権啓発活動の更なる推進、充実

#### ③男女共同参画の推進

# 【主な取組】

・女性相談の機会・内容の充実を図るとともに、各種セミナーや女性起業家育成、リーダー養 成事業、啓発活動等を通じて女性のエンパワーメントを図った。

成果指標	目標値	実績値	達成率
	(令和2年度)	(令和2年度)	(令和2年度)
女性相談の相談者数(人)	145	192	132.4%
セミナー・講座など啓発事業への参加者数	1.050	689	65.6%
(人)	1,050	009	03.0%
審議会・委員会などの女性委員割合(%)	30	30	100.0%
はばたきネットワーク加盟団体数(団体)	16	12	75.0%
女性団体活動支援講座参加者数(人)	100	95	95.0%

※コロナ禍によりセミナー2回、講演会1回、ワークショップ2講座を中止とした。

# 【主な課題】

- ・SDGsの目標であるジェンダー平等の達成に向け、男女共同参画及び性の多様性を尊重する社会づくりの推進
- ・男女共同参画社会の実現に向けて、啓発活動の更なる推進、充実

# ④ユニバーサル社会の形成

# 【主な取組】

- ・ユニバーサル社会の推進に向け、講演会等啓発活動を行った。また、聴覚に障害のある人が、 市議会本会議・委員会等の傍聴ができるよう傍聴席で手話通訳を行えるようにした。
- ・外国にルーツがある人への生活支援講座や日本語教室への支援などを実施した。

# 【成果指標の実績】

rt: 田 +15 +西	目標値	実績値	達成率
成果指標	(令和2年度)	(令和2年度)	(令和2年度)
ユニバーサルデザイン講演会の参加者数(人)	100	0	0.0%
(企業・事業所を対象とした)手話・要約筆記講	100	0	0.0%
座参加者数(人)	100	U	0.0%
特定道路のバリアフリー化進捗率(%)	100	89	89.0%
ボランティア登録者数(人)	70	63	90.0%
イベント参加人数(人)	100	80	80.0%

※コロナ禍で、セミナー等の開催を取りやめたため、参加者数が少ない。

- ・公共施設等のユニバーサルデザイン化の推進
- ・ユニバーサル社会の形成に向けて、更なる啓発活動の推進
- ・多文化共生社会の推進と理解への啓発

# 第2章 人と文化・スポーツを育むまちづくり(教育・文化・スポーツ)

# 重要視点

・大学等の高等教育機関や学校教育を通じて、将来を担う人材育成に努める。

・「次代を担う人材育成と文化とスポーツ活動が盛んなまち」をめざす。

# 主な施策の方向性

# ① 生涯学習の推進

公民館・図書館・その他施設も活用し、生涯学習を推進します。

# ② 青少年の健全育成

青少年の健全育成体制の充実、健全育成活動を促進します。

# ③学校教育の充実

教育内容の充実、学校規模の適正化、発達に課題のある児童への支援を行います

#### ④高等学校との連携

高校生が学びで得た知識や技術等を様々な活動で発揮できる環境整備、教育の機会均等のための支援等に取り組みます。

# ⑤大学教育の充実

福知山公立大学等の人材育成への支援とともに、大学の研究・人材等の地域振興、経済振興、生涯学習等への活用を図ります。

#### ⑥文化財の保護・保存

貴重な文化遺産を継承し積極的に保護・保存します。

#### ⑦文化活動の推進

文化施設等を活用した多彩な文化活動を支援し、文化活動の充実を図ります。

#### ⑧スポーツ活動の推進

生涯スポーツから競技スポーツまで幅広いスポーツ活動を推進します。

# 主な取組と成果、及び課題

# ① 生涯学習の推進

#### 【主な取組】

- ・市立公民館(中央公民館・地域公民館(コミセン))は、地域コミュニティの核施設として 学校、地区公民館等と連携し、生涯学習講座等を行った。
- ・地域を支える情報拠点として、蔵書の充実を図り、市内外住民の読書・学習活動を推進した。

成果指標	目標値	実績値	達成率
	(令和2年度)	(令和2年度)	(令和2年度)
地域公民館講座参加者数(人)	5,700	4,083	71.6%
生涯学習まちづくり出前講座受講者	1,000	155	15.5%
数 (人)		155	15.5%
図書館の年間来館者数(人)	330,000	152,478	46.2%
年間資料貸出冊数(冊)	600,000	498,677	83.1%
市民交流プラザ及び地域公民館利用 者数(人/日)	600	330	55.0%

※コロナ禍のため、生涯学習出前まちづくり講座は中止が多く、受講者実績が少ない。図書館も休館期間があった。地域公民館講座も、緊急事態宣言下やコロナ禍において、感染拡大防止の観点に立ち中止や延期としたため、参加者数は前年度から42%の減となった。

# 【主な課題】

- ・市民交流プラザ(図書館)の集客力を活かし各関係機関と連携することで、市内外の住民の交流の創出(多様な学習・課題解決、また地域活動・住民活動を支援する場として、関係機関・団体や市内外住民の交流拠点、情報拠点またすべての人の憩いの場としての活用促進。また立地の良さを最大限に活用し、市内外住民の交流拠点として集客に貢献し、街中への人の流れをつくり、賑わいを創出する)
- ・地域拠点としての今後の地域公民館のあり方の検討(社会教育活動及び地域福祉、住民自治、地域防災等においても地域住民の活動拠点としてのあり方を検討)
- ・家庭・地域・学校が連携した「心の教育」の実践
  - ・家族だんらんの日として、親子交流事業や地域ふれあい事業などを実施する。
  - ・あいさつ運動として毎月11日をあいさつデーとし通学路等で登校する児童生徒にあいさつによる声掛けや幟旗による啓発活動を実施する。
  - ・体験活動として年間を通じ各種体験講座や資源回収などのボランティア活動、地域交流 事業を実施する。

# ② 青少年の健全育成

# 【主な取組】

・ネットトラブル等現代的課題への予防啓発活動等に取り組んだ。

# 【成果指標の実績】

成果指標	目標値 (令和2年度)	実績値 (令和2年度)	達成率 (令和2年度)
街頭補導活動回数に対する注意助 言件数の割合(%)	30	2.5	8.3%
「心の教育」実践活動の参加人数 (あいさつ運動は除く)(人)	23,000	23,784	103.4%

<sup>※</sup>コロナ禍のため、該当補導活動は活動休止期間あり。また各ブロックの「心の教育」実践活動も事業を中止、縮小されたことにより、参加人数が少ない。

#### 【主な課題】

・生活全般に不可欠なツールとしてインターネットが活用される状況において、青少年に有害な情報が巧妙に氾濫することに起因したトラブルや犯罪に巻き込まれないための取組

# ③ 学校教育の充実

#### 【主な取組】

- ・英語教育、プログラミング教育等の充実、地域未来塾の全市的実施等による知育面での充実 に加え、道徳教育、仕事・文化活動体験などを通じた徳育やキャリア教育を進めた。
- ・教職員の資質向上のための研修や、一人ひとりを大切にする人権教育を行うとともに、生徒 の進路保障に取り組んだ。
- ・学校規模の適正化を図る観点から小学校の統廃合による適正規模・適正配置を進めた。

・不登校や発達に課題のある児童・生徒等の相談や支援にあたり、関係機関と組織的に連絡しながら家庭の状況等に応じた取組を行った。

# 【成果指標の実績】

成果指標	目標値 (令和2年度)	実績値 (令和2年度)	達成率
	(节和2年度)	(中和4年度)	(节和2年度)
授業時間以外の勉強時間が平日1日あ			
たり30分に満たない小学4年生の割合	3 以下	15.5(※)	19.4%(※)
(%)			
1日あたりの読書をする時間が30分以	EE	41.1(\\)	74 70//>/
上の小学生の割合(%)	55	41.1(※)	74.7%(※)
1日あたりの読書をする時間が30分以	40	25 6(%)	00%(>%)
上の中学生の割合(%)	40	35.6(※)	89%(※)
7時までに起床する小学生の割合(%)	95	87.1(※)	91.7%(※)
7時までに起床する中学生の割合(%)	95	86(※)	90.5%(※)
学校の体育以外で週1回以上運動やス	00	調査項目	
ポーツを行なっている小学生の割合(%)	90	より削除	_
学校の体育以外で週1回以上運動やス	0.1	調査項目	
ポーツを行なっている中学生の割合(%)	91	より削除	_
不登校児童の出現率(%)	0.2	1.01	19.8%
不登校生徒の出現率(%)	1.7	4.91	34.6%
朝食を毎日食べる小学生(%)	100	81.5(※)	81.5%(※)
朝食を毎日食べる中学生(%)	100	83.8(※)	83.8%(※)
就学前スクリーニング実施率(%)	100	98.2	98.2%
学校評議員に意見を求めた回数(回)	4	2.2	55.0%
小学校と保育園の情報共有、連携を行っ		10	111 10/
た回数(回/年)	9	10	111.1%
空調設備設置率(%)	100	100	100

※令和2年度において京都府学力診断テストが未実施となり、関連の成果指標が把握できない。このため、上記の実績値の欄の(※)については令和元年度の実績、また達成率の欄の(※)については、令和2年度の目標値に対する令和元年度実績での達成率として算出した。

※空調設備設置率は普通教室の数値

# 【主な課題】

- ・学校施設等の環境基盤やICT教育環境のハード面の整備が整う中、教育内容(ソフト面)のさらなる充実
- ・不登校をはじめ様々な困難に直面する児童生徒の状況に寄り添った相談支援の体制づくりや多様な学 びの保障
- ・「響」プラン・Fに基づく、豊かな人間性を育む教育、子供の可能性を伸ばす教育の実践

# ④ 高等学校との連携

# 【主な取組】

・探求学習やプログラミング教育など、高等学校のニーズに即した高大連携を推進し人材育成

に貢献した。また、福知山公立大学向けの進学支援制度を運営した。

・平成29年度までは人材育成支援事業として公的奨学金の受給者に学資の一部を支給するとともに人権学習会を実施した。平成30年度以降は学資の一部支給は廃止となったが人権学習会は継続している。

# 【成果指標の実績】

成果指標	目標値	実績値	達成率
	(令和2年度)	(令和2年度)	(令和2年度)
人材育成支援事業人権学習会の受給者 本人参加率(%)	45	平成 29 年度末 で人材育成支援 事業を廃止	_
市内の高等学校からの福知山公立大学へ の入学志願者数(人)	125	56	44.8%

# 【主な課題】

・小・中・高・大連携の取組の推進(探求学習やプログラミング教室など大学の知見を活かした教育連携の充実)

# ⑤ 大学教育の充実

# 【主な取組】

・新たに福知山公立大学に情報学部を開設、京都工芸繊維大学福知山キャンパスと共に「知の 拠点」と位置づけ、大学における教育、研究及び地域連携活動の充実を図った。

# 【成果指標の実績】

成果指標	目標値	実績値	達成率
	(令和2年度)	(令和2年度)	(令和2年度)
福知山公立大学への入学者数(人)	200	217	108.5%
地域と福知山公立大学の連携による取り	10	16	160.0%
組み(件(累計))	10	16	160.0%
福知山公立大学への社会人向け講座受	F00	607	121 4%
講者数(人(累計))	500	(内市内 495)	121.4%

#### 【主な課題】

・人口減少やグローバル化、情報化の進展、コロナ後の社会変容に対応するうえで必要な産業活性化や地域課題解決、市民のリカレント教育、生涯学習等、幅広い分野における福知山公立大学の知見を活用した、新たな社会的価値を創出し、持続可能な地域づくりに取り組むとともに、それを通じた学術の新たなあり方を追求する「福知山モデル」の構築

# ⑥ 文化財の保護・保存

#### 【主な取組】

・専門家による文化財調査に基づき指定文化財の指定を進めるとともに、文化財保護の普及・ 啓発を推進するための歴史資料の展示や街歩き講座等を開催した。

# 【成果指標の実績】

ct: 田 +12 +西	目標值	実績値	達成率
成果指標	(令和2年度)	(令和2年度)	(令和2年度)
指定文化財件数(件(累計))	222	266	119.8%
企画展示・説明会への参加者数(人)	7,000	6,761	96.6%

# 【主な課題】

・市民共有の財産として文化財を後世に伝えていくため、市内文化財の更なる現状把握と地域 資源として残していくための取組

#### ⑦ 文化活動の推進

# 【主な取組】

- ・教育・産業・観光等と連携した本市の文化の振興・発信を総合的に実施する基本となる「市 文化振興基本方針」の策定を行った。
- ・引き続き、市民による文化活動への支援等も行うとともに、文化活動の核となる厚生会館の 老朽化等を踏まえ、新たな施設のあり方について検討を進めた。

# 【成果指標の実績】

成果指標	目標値	実績値	達成率
	(令和2年度)	(令和2年度)	(令和2年度)
佐藤太清記念美術館入館者数(人)	11,000	69,742	634.0%
市展出品者数(人)	432	370	85.6%
鬼にかかわる地域交流事業参加者数(人)	350	_	_
姉妹都市島原市物産展の来場者数(人)	30,000	_	_
厚生会館、市民交流プラザ、夜久野ふれあい	252,000	136,990	54.4%
プラザ、大江総合会館利用者数(人)		(R1:269,655)	(R1:107.0%)

<sup>※</sup>コロナ禍で「鬼」の市町村交流事業や島原市物産展が中止となった。また、イベント、行事の中止 や臨時休館を行った。

※美術館で、光秀ミュージアムを開催したため、入館者の増加がみられた。

# 【主な課題】

- ・老朽化した文化施設の具体的なあり方の検討
- ・全市的な視点で文化振興の取組についての情報収集やマネジメントを行い、市民・団体・事業者との連携・協働につながる体制の構築

# ⑧ スポーツ活動の推進

#### 【主な取組】

- ・スポーツ推進とスポーツによる地域活力の向上をめざすスポーツ推進計画を策定した。
- ・スポーツ活動・団体への支援やスポーツ施設を活用してスポーツ振興を図るとともに、老朽 化した施設のあり方について検討を行った。

# 【成果指標の実績】

成果指標	目標値	実績値	達成率
	(令和2年度)	(令和2年度)	(令和2年度)
スポーツ推進委員の派遣講習受講者数	1,500	387	25.8%
(人)	1,000	307	20.0%
福知山マラソンの申込者数(人)	10,000	中止	_
スポーツ施設の利用者数(人)	578,500	289,606	50.1%

※コロナ禍のため

・スポーツ推進委員の派遣講習減少、・福知山マラソンを中止とし、代替イベントとしてオンラインマラソンを実施・スポーツ施設の利用休止により利用者数減少

- ・老朽化したスポーツ施設のあり方の更なる具体的な検討、取組を進めていくことが必要
- ・「福知山市スポーツ推進計画」による「する」「みる」「ささえる」「はじめる」をキーワード にした効果的に取り組むことが必要

# 第3章 誰もが快適に暮らせる生活基盤の整ったまちづくり(生活基盤)

# 重要視点

・良質な社会基盤の整備、適切な開発指導等を通じ、良好な市街地形成を図る。

・災害に強い社会基盤の安全性の確保、利便性、快適性、魅力の向上を進める。

# 主な施策の方向性

① 土地利用および市街地・集落整備

市街地における集客強化・まちなか居住、農山村地域の多面的な公益機能維持を進めます。

# ②公共交通の最適化

利用しやすいバス交通確保をはじめ公共交通のネットワーク化を進めます。

# ③道路網の整備

国・府・市道の整備促進、道路のネットワーク化を進めます。

# ④生活空間の整備

住宅・宅地、公園の整備、都市の緑化推進、斎場等の適切な維持管理を進めます。

# ⑤上下水道の整備

安心・安全な水道水の安定供給、下水道等の適切な維持管理を進めます。

# 主な取組と成果、及び課題

① 土地利用および市街地・集落整備

#### 【主な取組】

一部の市街化調整区域において地域コミュニティ維持を目的に地区計画の策定及び計画変更を行い、土地利用の誘導を行った。

# 【成果指標の実績】

成果指標	目標値	実績値	達成率
	(令和2年度)	(令和2年度)	(令和2年度)
地籍調査事業実施予定全体地区に対する事業	6,2	0.4	6.5%
成果を法務局へ送付した面積比率(%(累計))	0.2	0.4	0.5%
景観重要建造物の指定件数(件(累計))	25	0	0.0%
テナントミックス事業や空き店舗ストックバンク	25	54	154.3%
事業などによる店舗開業数(件(累計))	35	54	134.3%
街なみ環境整備事業による外観修景実施件数	57	45	78.9%
(件(累計))	37	40	76.9%
市街化調整区域における地区計画の指定区域	5	3	60.0%
数(地区(累計))	3	3	00.0%
多面的機能支払協定面積(ha)	2,000	1,982	99.1%

<sup>※</sup>コロナ禍で、勉強会の開催を見送り、地区計画素案作成に向けた具体的な議論を進めることができない 地区があった。

- ・拡散型の都市化による市街地の低密度化は、日常生活に不可欠な機能の低下を招き、市民生活に重大な影響を及ぼすおそれ
- ・一部の市街地では、都市計画と現況の土地利用の乖離が大きくなっており、土地利用に応じ

た環境が保全されないおそれ

・中心市街地活性化基本計画の成果を踏まえた、空き店舗対策や街並み環境の整備

# ② 公共交通の最適化

# 【主な取組】

地域公共交通網形成計画等を策定し、バス路線の再編、一部地域における自家用有償運送等により地域内移動等の取組を推進した。

# 【成果指標の実績】

成果指標	目標値	実績値	達成率
	(令和2年度)	(令和2年度)	(令和2年度)
JRの福知山市内駅平均乗客数(人/日)	4,600	未提供	#VALUE!
京都丹後鉄道の福知山市内駅平均乗客数	1,550	640	41.3%
(人/日)	1,330	040	41.3%
高校生通学(鉄道)定期券補助件数(人)	50	平成 29 年度	
同仪工进于(数坦)足粉分隔切什数(八)	30	末で事業廃止	_
市民一人あたりの年間路線バス利用回数	7.0	5.5	78.6%
(回)	7.0	5.5	76.0%
敬老乗車券購入冊数(冊)	4,000	3,108	77.7%
自家用自動車を利用しない市民の日常移動	40	41.4	103.5%
に対する満足度(%)	40	41.4	103.5%
利便性と効率性の向上および新たな利用者の発掘に			
つながるバス路線の再編成や新たな移動手段の導	6	9	150.0%
入·試行件数(件)			

※コロナ禍で、不要不急の移動が大幅に減少し、鉄道・バス等の公共交通の利用が減った。

# 【主な課題】

- ・路線バスの再編やそれに伴う自家用車有償運送の導入については、試行導入した地域での効果検証を行い、他の地域への拡大の是非の検討
- ・公共交通の再編については、利用状況や地域のニーズを見極めた実施
- ・沿線市町と連携した鉄道利用の促進や支援の在り方の検討

# ③ 道路網の整備

#### 【主な取組】

国道 429 号榎峠の整備事業化決定・事業着手、国道 9 号 4 車線化に向けた工事に着手し、国道 175 号嵩上げ工事等が進捗した。

成果指標	目標値 (令和2年度)	実績値 (令和2年度)	達成率 (令和2年度)
国道9号福知山道路の4車線化(全体5. 8kmの進捗率)(%)	90.0	76.0	84.4%

国道 429 号改良事業箇所数(箇所(累	2	2	100.0%
計))	3	3	100.0%
都市計画道路整備進捗率(%)	75.12	73.63	98.0%
福知山停車場奥榎原線の整備進捗率	100	41.0	41.00/
(%)	100	41.8	41.8%

- ・将来の土地利用計画、まちの発展を予測した、道路づくりの検討
- ・老朽化する道路橋の予防的な修繕や計画的な架け替え

# ④ 生活空間の整備

# 【主な取組】

公営住宅の建替え・修繕、各種公園の環境整備、斎場の改修等進めた。

# 【成果指標の実績】

成果指標	目標値	実績値	達成率
	(令和2月年度)	(令和2年度)	(令和2年度)
市営住宅のバリアフリー化率(%)	57.4	88.4	154.0%
三段池公園年間利用者数(人)	510,000	194,255	38.1%
福知山市都市緑化植物園で実施する市	50	36	72.0%
民ボランティア登録者数(人)	50	30	72.0%
斎場運営が適切であると思う利用者の割	80	91	113.8%
合(%)	80	91	113.0%

<sup>※</sup>コロナ禍のため、三段池公園及び施設の閉鎖があり、公園の利用者が減少している。また毎年 10 月 に開催している緑化まつりも開催を控えた。

#### 【主な課題】

・老朽化が進んでいる市営住宅の更新について、PFI方式での実施

# ⑤ 上下水道の整備

# 【主な取組】

- ・水道施設の更新や耐震化を計画的に進めるともに、上水道と簡易水道の統合を行い、より安心、安全な水道水の安定供給に努めた。
- ・下水道施設の適切な維持管理や施設マネジメント、使用料の改定により経営基盤の安定化を 図るとともに、し尿の適正処理を推進した。
- ・京都府水道事業広域的連携等推進協議会において水道の広域連携等を検討している。

成果指標	目標値	実績値	達成率
八木 11 保	(令和2年度)	(令和2年度)	(令和2年度)
基幹管路の耐震化率(%)	50.0	56.1	112.2%
長寿命化対策実施率(平成 26 年度策定分) (%)	100.0	100.0	100.0%

・水道の基幹管路や下水道施設の経年劣化、老朽化が進んでおり、適切な維持管理と計画的な改築更新が必要。

# 第4章 豊かな自然の中で共に安心して安全に暮らせるまちづくり(防災・環境)

# 重要視点

・防災・減災、防犯対策などの体制の充実に取り組む。

・自然環境の保全・共生やごみ処理などの環境問題に取り組む。

# 主な施策の方向性

# ① 防災対策の強化

過去の相次ぐ自然災害を踏まえ、ハード・ソフトの防災・減災対策を進めます。

# ②消防・救急体制の強化

消防資機材の充実、救急隊員の資質向上及びきめ細やかな火災予防対策を進めます。

# ③防犯・交通安全対策の推進

防犯・交通安全の市民啓発活動等を進めます。

# ④自然環境の保全・共生の推進

本市の財産である自然環境の保全を市民参画で進めます。

# ⑥ 低炭素・循環型社会の形成

適切なごみ処理と、地球環境に優しい再生可能エネルギーの普及を進めます。

# 主な取組と成果、及び課題

# ① 防災対策の強化

# 【主な取組】

- ・過去の相次ぐ自然災害を踏まえ、由良川築堤、内水対策としての貯留槽・排水設備等のハード整備、自主防災組織設置促進等のソフト対策を推進した。
- ・自助・共助・公助の観点から本市の避難のあり方全般について、有識者や地域代表、国、府 などの関係機関を交えた検討会を開催し、実践検証などを踏まえ最終報告を取りまとめた。

# 【成果指標の実績】

成果指標	目標値	実績値	達成率
	(令和2年度)	(令和2年度)	(令和2年度)
自主防災組織の組織率(%)	100.0	83.7	83.7%
災害時要配慮者避難支援事業登録者数(人	2 900	1,240	32.6%
(累計))	3,800	1,240	32.0%
木造住宅の耐震診断戸数(戸)	100	21	21.0%
「由良川緊急治水対策」に位置づけられた堤	100	95	95.0%
防の整備率(%)	100	90	95.0%
弘法川・法川流域における調節池・調整池の	410,000	410,000	100.0%
新設容量(m <sup>3</sup> (累計))	410,000	410,000	100.0%
事業進捗率(下水道施設の整備)(%)	100.0	100.0	100.0%

- ・内水対策として市街地のハード整備は進捗したが、その効果発現のための適切な運用
- ・災害が多い大江地域での内水対策の推進
- ・本市における過去の具体的な災害履歴から、災害発生時における住民の避難行動が十分に行われていないことが課題であり、「避難のあり方検討会推進事業」において、避難に繋がる

情報発信の充実や、資機材購入などによる避難所の計画的な整備、さらに生涯を通じた防災 教育の充実など避難のあり方検討会の方向性に沿った事業の推進

# ② 消防・救急体制の強化

#### 【主な取組】

・常備、非常備の消防資機材及び施設整備のハード事業、病院での実習による救急隊員の資質 向上、地域の防災リーダー養成や一人暮らし高齢者宅防火訪問等のソフト事業を実施した。

# 【成果指標の実績】

成果指標	目標值	実績値	達成率
	(令和2年度)	(令和2年度)	(令和2年度)
住宅用火災警報器の設置率(%)	95	87.3	91.9%
耐震性貯水槽の整備数(基(累計))	126	138	109.5%
「ワークステーション」での研修者数(人)	156	120	76.9%
「市民救命士」の受講登録者数(人(累計))	35,000	25,793	73.7%
消防団員の定員充足率(%)	93	92.8	99.8%
自主防災リーダー養成講座受講者数(初級)	2.400	2.240	07.09/
(人(累計))	2,400	2,349	97.9%

#### ※コロナ禍で、

- ・自主防災リーダー養成講座では、当初予定していた開催時期の変更及び受講人数の制限を行い 開催したこともあり、目標達成はできなかった。
- ・ワークステーションでは、研修受け入れ中止期間があり年度計画の 52 週のうち 40 週の出向となった。
- ・予定していた救命講習が中止や人数制限での開催となり、令和2年度新規登録者数が343名(令和元年度1,118人)と減少した。

#### 【主な課題】

- ・安心・安全な地域づくりのため、引き続き消防車両・資機材・水利・消防団詰所の計画的な 整備及び消防職員の高度な技術、知識の習得や消防団との連携による消防・救急・救助体制 の更なる強化
- ・設置義務化から10年が経過し、耐用年数を超過した住宅用火災警報器の更新に係る啓発
- ・京都府中・北部6消防本部(京都府北部地域連携都市圏7市町及び京都府中部地域3市町) で構成する京都府中・北部地域消防指令事務協議会において消防指令業務の共同運用に向 けた具体的な協議

# ③ 防犯・交通安全対策の推進

# 【主な取組】

・交通安全・防犯の市民啓発活動、子どもの通学路危険除去、高齢ドライバーの免許返納等の 取組を進めた。

成果指標	目標値	実績値	達成率
	(令和2年度)	(令和2年度)	(令和2年度)
防犯推進モデル地区指定自治会数(自治会)	57	52	91.2%
刑法犯認知件数(件)	500	337	148.4%

防犯パトロール車の青色回転灯の貸与台数 (台)	59	46	78.0%
安心・安全メール登録者数(人(累計))	3,100	5,064	163.4%
消費生活相談に係る市民講座の受講者数 (人)	800	281	35.1%
消費生活相談に係る解決率(%)	90	98.4	109.3%

※コロナ禍で、講座の開催ができなかったことから、受講者数が減少した。

成果指標	目標値	実績値	達成率
	(令和2年度)	(令和2年度)	(令和2年度)
交通指導員による交通安全教室の受講者数	2,000	0	0.0%
(幼児)(件)	2,000	0	0.0%
交通指導員による交通安全教室の受講者数	800	0	0.0%
(高齢者)(件)	800	U	0.0%
運転免許証自主返納者の件数(件)	200	303	151.5%
交通事故発生件数(件)	180	94	191.5%

※コロナ禍で、交通安全教室については開催自体を控えた。

# 【主な課題】

・防犯パトロール車運用者の高齢化により防犯パトロール車が減少している。

# ④ 自然環境の保全・共生の推進

# 【主な取組】

・環境分野での人材育成、モデルフォレスト運動等、市民参画により自然環境の保全・活用を 図った。

# 【成果指標の実績】

rt 田 tb ta	目標値	実績値	達成率
成果指標	(令和2年度)	(令和2年度)	(令和2年度)
家庭、事業所、公共施設での「みどりのカーテ	18	5.18	28.8%
ン」実施率(%)	10	5.16	20.0%
環境基本計画プロジェクトへの年間参加者数	3,200	859	26.8%
(人)	3,200	639	20.8%
環境人材育成セミナーを修了した環境リーダ	25	36	144.0%
一の数(人(累計))	23	30	144.0%
千年の森づくり活動の年間参加人数(人)	146	23	15.8%
モデルフォレスト協定数(協定数(累計))	5	4	80.0%
河川愛護・里山保全活動への年間参加者数	180	231	128.3%
(人)	180	231	120.3/0
水生生物、植物観察会などへの年間参加者	500	38	7.6%
数(人)	300	30	7.070
狂犬病予防注射の接種率(%)	100	75.9	75.9%

※コロナ禍で、一部活動の参加人数について、活動日が制限され活動人数が減少した。

・千年の森づくりや住民参画による森林整備について新たな展開や更なる充実が課題

# ⑤ 低炭素・循環型社会の形成

# 【主な取組】

- ・公共施設による太陽光発電等再生可能エネルギーの普及を図った。
- ・ごみ処理対策として、最終処分場の長寿命化を推進した。

# 【成果指標の実績】

成果指標	目標値	実績値	達成率
八米 担保	(令和2年度)	(令和2年度)	(令和2年度)
再生可能エネルギー自給率(%)	4.2	3.6(※)	85.7%(※)
事業所の公害苦情発生件数(大気・臭気・騒	16	18	88.9%
音)(件)	10	10	00.9%
一人当たりのごみ排出量(kg)	138	152	90.8%
リサイクル率(%)	25.0	14.7	58.8%

・(※) の実績値は、令和1年度の実績値。達成率は、令和2年度の目標値に対する令和1 年度の実績値による達成率。

- ・環境・経済・社会の好循環による持続可能な地域づくり。
- ・再生可能エネルギーの更なる普及・啓発。

# 第5章 子どもから高齢者までだれもが健やかに暮らせるまちづくり(保健・医療・福祉・子育て)

# 重要視点

・「健康・医療・福祉」を総合的に捉え、市民の自立した健康づくりを支援する。

・地域で支える皆に優しい健康・医療・福祉基盤が整ったまちをめざす。

# 主な施策の方向性

① 保健・医療・福祉の包括的な推進

市民病院の充実と、健康づくり・福祉の充実に努めます。

② 地域福祉の充実

平時、災害時の要配慮者等への支援を地域、関係機関とともに行います。

③子育て支援の充実

子育て相談体制の充実、保育基盤の強化に努めます。

4 障害のある人の福祉の充実

障害のある人の生活支援、自立と社会参加促進、理解を深める啓発等に取り組みます。

⑤高齢者福祉の充実

高齢者の生活支援等を進めます。

⑥ 生活支援の充実

社会保障制度の適正な運用、および困窮者等への相談体制の充実等を進めます。

# 主な取組と成果、及び課題

① 保健・医療・福祉の包括的な推進

# 【主な取組】

- ・市民病院は救急医療、高度医療の拠点として、医師の確保や医療提供体制の拡充に努めた。
- ・大江分院では、在宅医療を推進するとともに、総合診療専門医の育成に努めた。
- ・本市に多い高血圧症対策として、企業を巻き込んだ取組を開始した。
- ・献血・骨髄バンクのまち宣言
- ・保健・指導と介護予防の一体的実施

成果指標	目標値	実績値	達成率
	(令和2年度)	(令和2年度)	(令和2年度)
年間献血者総数(400ml換算)(人(のべ))	4,000	4,433	110.8%
年間骨髄バンク登録者数(人(累計))	250	115	46.0%
救急搬送受入率(%)	100	99.6	99.6%
健康活動実践者数(健康活動ポイント事業応	1 400	869	62.1%
募者数)(人(のべ))	1,400	609	02.1%
メタボ予防教室、卒煙チャレンジ教室参加者	45.0	45.0	100.0%
で、生活習慣等改善した人の割合(%)	43.0	43.0	100.0%
健診受診者率 (1)国保特定健診 (%)	60.0	32.0	53.3%
健診受診者率 (2)後期高齢者健診(%)	22.0	20.7	94.1%
退院時施設入所調整件数(人)	400	453	113.2%
退院時在宅調整件数(人)	460	629	136.7%

- ※緊急事態宣言による集団健(検)診の日程変更の影響やコロナ禍での健(検)診受診控えによる受診者数の減少により、受診率が低下した。
- ※健康活動ポイント事業は健(検)診受診や健康教室参加、イベントによってもポイントが獲得できるため、それらの未受診や縮小、中止による応募の減少があった。

- ・骨髄バンク登録の促進
- ・各地域の実情を踏まえた上で、地域包括ケアの更なる充実
- ・健康無関心層への働きかけ、特に介護に至る要因として最も多く、本市の特徴的な疾患である高血圧症対策の更なる充実

# ② 地域福祉の充実

# 【主な取組】

- ・地域包括支援センターを拡充、介護あんしん総合センター設置等により地域包括ケアを推進した。
- ・災害時要配慮者避難支援事業の推進

# 【成果指標の実績】

t; 田 tc t=	目標値	実績値	達成率
成果指標	(令和2年度)	(令和2年度)	(令和2年度)
高齢者ふれあいいきいきサロン延べ参加者	41 500	17.050	42.0%
数(人(のべ))	41,500	17,859	43.0%
福知山市ボランティアセンターへの加入者	0.000	1 206	40.00/
数(人(累計))	2,800	1,396	49.9%

# 【主な課題】

- ・民生児童委員のなり手確保
- ・災害に備え更に市民サポーターの増強
- ・ 個別避難計画の策定

# ③ 子育て支援の充実

#### 【主な取組】

・子育て総合相談窓口の設置・充実によりワンストップで相談対応や、子育て LINE 相談を実施した。

成果指標	目標値	実績値	達成率
以木伯倧	(令和2年度)	(令和2年度)	(令和2年度)
保育所入所率(%)	98	96	98.1%
相談対応件数(件)	600	288	48.0%
育児に参加する父親の割合(%)	57.9	90.0	155.4%
子どもが育てにくいと感じる保護者の割合	146	27.0	20 EW
(%)	14.6	37.0	39.5%
乳幼児の健康相談者数(人(のべ))	6,815	3,766	55.3%

4歳児クラス健診における要支援児童のうき	7.5	01.5	00.0%	
うき教室での支援率(%)	/5	61.5	82.0%	

※相談対応件数:緊急事態宣言発令に伴う地域子育で支援センター休館及び再開後の利用者数制限による減乳幼児の健康相談者数:新型コロナウィルス感染拡大状況を踏まえた乳児健康診査の医療機関委託 実施(6~9月)

# 【主な課題】

- ・子育て支援の更なる充実、保育基盤の更なる機能強化
- ・市街地の特定の園を入所希望する保護者が多く、保育園・認定こども園は入りにくい傾向へ の対応
- ・保育園、幼稚園、認定こども園などの保育士等が不足している状況があり、人材確保への対 応

# ④ 障害のある人の福祉の充実

# 【主な取組】

・手話言語及び障害のある人の多様なコミュニケーション促進条例の施行、あいサポート運動 の展開をはじめ、障害のある人の生活支援や自立と社会参加促進にも取り組んだ。

# 【成果指標の実績】

成果指標	目標値	実績値	達成率
<b>火木</b> 担保	(令和2年度)	(令和2年度)	(令和2年度)
ふれあい大運動会・ふれあい福祉フェスタな	1,200	0	0.0%
どの参加者数(人/年)	1,200	0	0.0%
障害者相談支援事業所延べ相談支援件数	10 200	14 505	75 70/
(件/年)	19,200	14,525	75.7%
4歳児未入園児健診受診率(%)	70.0	50.0	71.4%
グループホーム利用者数(3月末実人員)	110	O.F.	06.49/
(人)	110	95	86.4%
障害者就労施設などからの物品などの調達	EE0 000	1 407 110	270.40/
(市の優先調達の額)(円)	550,000	1,487,110	270.4%
障害理解に関する啓発回数(回)	16	37	231.3%
音声による行政情報の提供回数(回)	33	27	81.8%
手話、要約筆記のできる職員の養成、配置	40	105	000 FW
(人(累計))	40	105	262.5%

※コロナ禍で、各種イベント、講座等を中止したため実績値が低くなっているものがある。

# 【主な課題】

- ・障害者福祉の更なる充実、障害のある人の自立や社会参加の促進
- ・支援者や支援機関が確保できず、希望通りに社会参加できない人への対応
- ・あいサポート運動について、あいサポート企業の申請が少なく、企業への周知・啓発

# ⑤ 高齢者福祉の充実

#### 【主な取組】

- ・高齢者・障害福祉サービスの基盤整備を進めた。
- ・各中学校区に、地域包括支援センター、地域支援コーディネーターを配置し、きめ細かい相 談、地域資源や課題の把握に努めた。

# 【成果指標の実績】

成果指標	目標値	実績値	達成率
	(令和2年度)	(令和2年度)	(令和2年度)
シルバー人材センター会員数(人)	800	661	82.6%
介護支援サポーター登録者数(人)	200	107	53.5%
地域包括支援センター相談件数(件)	7,720	4,876	63.2%
短期入所生活介護の利用者数(人)	490	317	64.7%
認知症サポーター数(人(累計))	5,180	5,836	112.7%

※コロナ禍で、介護支援サポーターは活動を停止し、新たにサポーターを募集も行わなかった。 また実際の活動がないサポーターは登録から削除したため、登録人数が減少した。

# 【主な課題】

- ・高齢者・障害福祉サービスの充実のためにも、不足している介護人材への対応
- ・更なる高齢化を見据えた地域包括支援センター、介護あんしん総合センターの機能充実、 健康づくり・介護予防、認知症対策などの充実
- ・認知症高齢者に対する早期発見、早期対応の体制構築や関係機関との連携強化

# ⑥ 生活支援の充実

# 【主な取組】

・「生活としごとの相談窓口」を充実させるため、関係機関と連携しながら相談者の状況に応じて適切な相談・支援体制を構築した。

# 【成果指標の実績】

成果指標	目標値	実績値	達成率
/ 从 八	(令和2年度)	(令和2年度)	(令和2年度)
自立支援事業による生活保護からの自立者	20	11	55.0%
数(人/年)	20	11	55.0%
国民健康保険料収納率(現年分)(%)	95.00	96.26	101.3%
生活困窮者自立支援制度による自立者数	50	73	146 0%
(支援終結した数)(人(累計))	30	/3	140.0%
生活困窮者新規相談受付件数(件/年)	180	467	259.4%

※コロナ禍で、被保護者と対面する機会を控えたこともあり、CWや就労支援員が勤労意欲を喚起したり、ハローワークへ同行することが減少したことが実績が低くなった一因と思われる。

- ・生活支援の更なる充実を図るため、相談ニーズに対応できるよう支援員の資質向上と相談支援体制の更なる機能強化
- ・自殺予防対策を推進していくため、相談窓口の周知徹底と関係機関との連携を図り、自殺に 関する普及啓発

# 第6章 地域の特色を活かしたにぎわいのあるまちづくり(産業・地域活力)

- 重要視点・新たな産業の創出と既存産業の育成・振興に取り組む。
  - ・「地域の個性と資源を活かす産業創造と交流連携のまち」をめざす。

# 主な施策の方向性

# ① 農林水産業の振興

生産基盤の整備、農林業の担い手育成及び農産物のブランド化の推進、有害鳥獣対策の強化 を図ります。

# ②商工業の振興

商店街や市内企業の振興、工業団地への企業誘致等を図ります。

# ③観光業の振興

自然環境や歴史的文化遺産、スポーツ大会等の資源を活用した観光振興を図ります。

# ④雇用の確保

ハローワーク福知山、北京都ジョブパーク等との連携・協力による雇用対策を進めます。

# ⑥ 移住・定住の促進

移住希望者への支援や地域の魅力体感の機会創出等による、都市部からの人口誘引等を促 進します。

# 主な取組と成果、及び課題

# ① 農林水産業の振興

# 【主な取組】

- ・有害鳥獣の防除・捕獲、農業用施設の長寿命化、農道整備等の環境整備を行った。
- ・消費者ニーズに合った農産物の生産拡大、地域特産物の生産、丹波くりを使ったスイーツ開 発等のブランド力の強化、1次産品の高付加価値化(ブランド化)を図り販売力を高める「ふ くちやまエエもん発掘事業」等を実施した。

成果指標	目標値	実績値	達成率
以木伯倧	(令和2年度)	(令和2年度)	(令和2年度)
改良及び改修を行った農業用施設の箇所	3	8	226.7%
数(箇所)	o o	3	220.770
中山間地域等直接支払集落協定締結面積	1,010	862	85.3%
による農用地の確保(ha)	1,010	802	65.5%
事業により支援した新規就農者の営農継続	30	33	110.0%
者(人(累計))	30	33	110.0%
担い手認定農家数(人)	200	159	79.5%
農業生産法人数(組織)	20	33	165.0%
家畜市場の入場頭数(頭)	500	464	92.8%
森林整備施業面積(ha(年間))	587	京都府集計中	_
有害鳥獣による農作物被害額(千円(年	20,000	26.024	115.00/
間))	30,000	26,034	115.2%
京ブランド野菜の販売額(千円)	200,000	203,154	101.6%

山ぶきの作付け面積(ha)	8	3.8	47.5%
エコファーマー認定者数(人)	150	127	84.6%
6次産業化取組支援組織数(組織)	16	7	43.8%
学校給食の地場野菜の使用率(%)	23	14	60.9%
丹州材の出荷量(m3(年間))	10,000	2,125	21.3%
府内産青果物の取扱高(千円)	650,000	739,773	113.8%
と畜頭数(頭)	800	162	20.3%

- ・農地の集約による効率化の促進
- ・ICT等を活用した農林業の生産性向上やデータに基づく有害鳥獣対策の推進
- ・ふくちやまエエもん発掘事業等によるブランド力の強化
- ・森林経営管理制度を活用した森林整備の推進

# ② 商工業の振興

# 【主な取組】

- ・商工団体の活動と連携し、商工業の活性化と経営基盤の強化を図った(とりわけ令和2年度は新型コロナウイルス感染症による地域経済への影響を踏まえ、協調して事業者支援にあたった)。
- ・中心市街地活性化基本計画における取組を有志民間・市民団体等と共に実施することで、賑 わいや新たな人の流れが生まれた。
- ・産業支援センターを設置し、寄り添い型の事業相談により販売促進や新商品開発等の成果を あげた。
- ・長田野工業団地の既存企業の大型設備投資や長田野工業団地アネックス京都三和の新規立 地が進んだ。
- ・コロナ禍による社会価値の変化を踏まえ、ニーズの変化に対応した新たな価値創造が必要となる中、この担い手となる新たな企業等の創出を目的とする福知山公立大学との連携事業「NEXTふくちやま産業創造事業」について、令和3年度からの事業開始に向けて準備を行った。

成果指標	目標値	実績値	達成率
八 未 拍 保	(令和2年度)	(令和2年度)	(令和2年度)
中心市街地の歩行者・自転車通行量(平日・	4 200	2.076	0.4.70/
休日の平均)(人)	4,200	3,976	94.7%
支援機関との連携による産学官連携件数	10	13	130.0%
(件(累計))	10	13	130.0%
長田野工業団地の工場出荷額(億円)	2,650	2,766	104.4%
長田野工業団地アネックス京都三和分譲割	41.8	69.2	165.6%
合(%)	41.0	09.2	105.0%
創業支援窓口による創業者数(件/年)	32	21	65.6%

市内高校生の就職ワークショップ参加者数 (人/年)	40	276	690.0%
ふるさと就職おうえん事業参加者数(人/ 年)	60	新型コロナウイルス 感染症の影響により 中止	_

※コロナ禍の外出控えで、歩行者・自転車通行量が減少している。

# 【主な課題】

- ・商工団体等や福知山公立大学、産業支援センターと連携した産業育成や起業の促進
- ・中心市街地活性化基本計画の成果を活かした官民協働による継続的な取組
- ・多様な働き方の啓発と、実現に向けた施策の検討
- ・福知山公立大学と連携した、シニア世代が活躍できる環境整備。
- ・長田野工業団地内企業のニーズを踏まえた支援や長田野工業団地アネックス京都三和への 更なる企業誘致

# ③ 観光業の振興

# 【主な取組】

- ・大河ドラマ「麒麟が来る」の放送に合わせて、企画展「光秀ミュージアム」を開設し、光秀 ゆかりの地として数々のメディアリレーションを実施した。福知山城をはじめとした明智 光秀ゆかりの地に多くの観光客が訪れた。
- ・各種団体が開催するイベント支援および、「ふくちやまスイーツフェスティバル」(R02 は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止)に加え、「ふくちやま MEET×MEAT フェスティバル」(同左)で食の観光振興を推進した。

# 【成果指標の実績】

成果指標	目標値	実績値	達成率
	(令和2年度)	(令和2年度)	(令和2年度)
観光入込客数(人)	942,000	892,414	94.7%
観光協会推奨土産品目(品)	174	173	99.4%
観光ガイド数(人)	20	47	235%
観光資源めぐりのモデルコース数(コース)	27	21	77.8%
福知山城(郷土資料館)入館者数(人)	42,000	109,189	260.0%
年間宿泊客数(人)	184,200	135,727	73.7%
近畿大会以上のスポーツ大会の開催数	10	3	30.0%
(大会)		3	30.0%
		補助事業の	
スポーツ合宿の宿泊者数(人) 	1,200	廃止により カウントせず	_
   PRキャンペーンの回数(回)	5	1	20.0%
観光案内ホームページのアクセス数(回)	135,000	118,495	87.8%
既ル未内が ム、 ノのアフセス数(国)	133,000	110,433	07.0/0

※コロナ禍で、近畿大会以上のスポーツ大会の中止が相次ぎ、目標値を下回った。またイベント開催、 出展が大幅に減ったため本市のPR回数が目標値を下回った。

# 【主な課題】

・デジタル技術の活用や、滞在型・分散型への変容を前提とするアフターコロナの観光需要を

#### 捉えた施策展開

- ・交流・滞在拠点施設の高付加価値化
- ・地域資源を活かした新たな体験型観光コンテンツづくりやその魅力向上
- ・二地域居住やワーケーションの需要開拓と連動した誘客多角化
- ・海の京都・森の京都等との協調による誘客促進
- ・シティプロモーションと連動したまちの情報発信

# ④ 雇用の確保

#### 【主な取組】

- ・福知山雇用連絡会議を設置し、就職面接会や高校生向けワークショップを開催し、事業所と 求職者のマッチング機会を創出した。
- ・生産年齢人口の減少による労働力不足を解消するための雇用対策、就業支援。
- ・コロナ禍による社会価値の変化を踏まえ、ニーズの変化に対応した新たな価値創造が必要となる中、この担い手となる新たな企業等の創出を目的とする福知山公立大学との連携事業「NEXTふくちやま産業創造事業」について、令和3年度からの事業開始に向けて準備を行った。(再掲)
- ・福知山公立大学生の市内就職を促すためのインターンシップや就職イベントの実施

# 【成果指標の実績】

成果指標	目標值	実績値	達成率
	(令和2年度)	(令和2年度)	(令和2年度)
就職フェスタによる就職決定者数(人)	44	21	47.7%
福知山市企業人権教育推進協議会に加盟す	115	0.7	84.3%
る企業数(社)		97	

※コロナ禍で、対面での企業説明会が開催できなかった。(オンラインにより開催)また経済の低迷と 先行きの不透明感から、採用を控える企業も出てきた。

#### 【主な課題】

- ・雇用・就業機会の確保・拡充等、移住促進の受け皿づくり
- ・市内の高校・福知山公立大学生の地元就職を推進する取組や、若者・UIJターン者向け就職事業のさらなる推進
- ・長田野工業団地内企業のニーズを踏まえた支援や長田野工業団地アネックス京都三和への 更なる企業誘致(再掲)

#### ⑤ 移住・定住の促進

#### 【主な取組】

・お試し住宅の設置、移住WEBサイト・窓口設置等様々な移住施策を実施し、移住につなげた。

成果指標	目標値	実績値	達成率
	(令和2年度)	(令和 2 年度)	(令和2年度)
中丹式インターンシップ制度利用による圏域	1.4	古类体儿	
内就職者数(人(累計))	14	事業廃止	_

空き家情報バンク制度による定住者数(人	101	050	120.00/
(累計))	181	253	139.8%

- ・空き家が増えても空き家バンクの登録には結びついていないことへの対応
- ・働き方や生活スタイルの変化により、移住希望者は就農だけでなく、テレワーク、二地域居 住などニーズが多様化しつつあることへの対応

# 第7章 行財政効率の高いまちづくり

# 重要視点

- ・効率性の高い行政経営の確立と持続可能な財政基盤を構築する。
  - ・ICTを効果的に活用し、行政経営のさらなる効率化、高度化を図る。

# 主な施策の方向性

# ① 行政改革の推進

時代のニーズに即応した行政経営の推進、持続可能な財政基盤の構築を図ります。

# ② 高度情報化の推進

ICTの活用により利便性の高いサービスの提供に努めます。

# 主な取組と成果、及び課題

#### ① 行政改革の推進

# 【主な取組】

- ・市民ニーズに即応する機構改革、事務事業評価による事業の見える化を行った。
- ・公共施設マネジメントによる公共施設の適正配置・総量削減、指定管理者制度による公共施設の効率的・効果的な管理運営と見直しを行った。
- ・水道料金改定や包括的民間委託を行った。
- ・計画的かつ体系的な人材育成の研修を行った。
- ・京都府北部自治体及び兵庫県北部自治体等との広域連携による効率的かつ有効な連携等を 行った。

# 【成果指標の実績】

成果指標	目標値	実績値	達成率
	(令和2年度)	(令和2年度)	(令和2年度)
公共施設床面積の削減総量(㎡)	50,000	24,672	49.3%
将来負担比率(%)	H26 決算数值	71.6	(達成)
	以下	(暫定値)	(连队)
第6次行政改革削減金額(累計)(百万円)	3,290	4,501	136.8%
市税収納率(%)	97.5	96.7	99.2%
広域連携による連携事業数(事業)	10	10	100.0%

- ・公共施設マネジメントは、市のあるべき姿を具体化するため、多岐に亘る関連施策と連動 し、次のステージとしてまちづくりや安心・安全への取組を進めることによって、地域価値 の向上
- ・施設の総量削減だけでなく総コスト削減につながる取組みについて整理し、施設の長寿命化 や貸付などについての積極的な取組
- ・広域連携においては、圏域の中心的な役割を担いながら近隣市町との共同により効率的な行 政運営を目指すとともに、今後の広域連携の大きな方向性についての検討
- ・公共のあり方、市の関与などを十分検討した上での行政改革の推進
- ・第6次行革では、行革による取組項目以外での継続的経常的な事業費の増加や、行革策定時の見込みを超える扶助費の増加に対応すべく「福知山市財政構造健全化指針」を別途作成

- し、行革の取組を補完せざるをえなかった。
- ・第6次行革は、実施項目を策定当初の108項目に限定して実施したこと、行革目標を各項目の積み上げにより設定したことから、社会経済情勢や市民ニーズへの臨機の対応や見直しが行えなかった。

# ② 高度情報化の推進

# 【主な取組】

- ・市役所の業務システム(住民記録・税・福祉等 26 システム)を京都府共同型自治体クラウドへ移行し、システムの安全性・業務継続性の向上を図った。
- ・一部の市民向けサービスについてオンライン申請を取り入れ市民の利便性向上を図った。
- ・一部業務に AI-OCR や RPA を導入し、単純業務の省力化を図った。
- ・「オープンデータ推進ガイドライン」を策定し、244 セット(令和 2 年度末)のオープンデータを公開した。またオープンデータを活用したツール(消火栓等の位置情報)が民間団体によって作成された。
- ・外部講師による情報セキュリティ研修と全ての部署を対象とする情報セキュリティ内部監査を毎年実施し、職員のセキュリティレベル底上げを図った。
- ・マイナンバー制度導入に伴い、ネットワークを分離し、セキュリティの強靭化を図った。

# 【成果指標の実績】

成果指標	目標値	実績値	達成率
	(令和2年度)	(令和2年度)	(令和2年度)
オープンデータを活用したアプリ作成数	5	1	20.0%

# 【主な課題】

・市役所業務システムの自治体クラウド化やオンライン申請、RPAの導入等、行政経営の効率化は一定進んだが、少子高齢化、生産年齢人口減少等による地域課題の解決や新時代へ対応するためにAIやICT等の活用の推進